

“つなぐ” 栄養管理 — 在宅で通用するルート設計とは —

ランチオンセミナー 13

概要

在宅移行が進む中、栄養・薬剤ルートの選択はその後の管理や安全性、QOLに大きく影響する。各フェーズで最善とされた判断でも、在宅ではうまく運用できない、継続が困難となるケースがある。本セッションでは、急性期と在宅それぞれの視点を踏まえ、ルート選択を“その場の判断”ではなく“在宅までを見据えた設計”として捉え、実践的な運用のあり方を考える。

■ 開催日時

2026年 **7月5日(日)**
12:00～13:00

■ 会場

札幌コンベンションセンター
第3会場
中ホールA

■ 座長

丸山 道生 先生 医療法人財団緑秀会 田無病院 院長



■ 講演1 / 栄養管理における栄養ルートの選択と在宅医療へのバトン ～ 経静脈栄養を中心に急性期病院の立場から ～

石井 要 先生 公立松任石川中央病院 外科 主任部長



■ 講演2 / 選択された栄養ルートを 安心して安全に在宅医療で活用するために必要なこと ～ 経管栄養を中心に在宅医の立場から ～

西山 順博 先生 医療法人 西山医院 理事長・院長



■ 申込方法

本ランチオンセミナーは事前申込制です。詳細は大会ホームページをご確認ください。
<https://www.aeplan.jp/jahcm2026/registration/>